

典礼のしおり

o Domingo N.º 11

PANIB 発行 10-03-2024

四旬節第四主日

私達は主の民に属している喜びの中で聖体祭儀を祝うためにここに集まっています。主ご自身がキリストと共にある命に私達を招いてくださり、人類に対する愛から御一人子を私たちに遣わし、満ちあふれる命と救いの恵みをもたらしてくださいました。復活祭に向かう途中で、イエスの光に近づきました。そうすればイエスは私たちに不和を解消し兄弟姉妹の間に社会的な友情を築くよう促してくださいました。

集會祈願

聖なる父よ、あなたは御子の苦しみと死によって、ゆるしの恵みをもたらしてくださいました。キリストを信じる人々が、信仰と愛に満たされ、主の過越を迎えることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

* 解説

今日の聖書の朗読は、私たちの心に大

きな信頼を呼び覚まします。神はご自分の民にたいする愛のご計画によって民を決して、見捨てることなく、かえって、人類の救いのしるしとなるために、ご自分の御一人子が地上から上げられことをお許しになったことを私たちに示してくださいさるからです。

歴代誌 (歴代誌下 36・14-16、19-23)

「そのころ、ユダの王ゼデキヤは主の目に悪とされることを行った。」祭司長たちのすべても民と共に諸国の民のあらゆる忌むべき行いに倣って罪に罪を重ね、主が聖別されたエルサレムの神殿を汚した。先祖の神、主は御自分の民と御住まいを憐れみ、繰り返しの御使いを彼らに遣わされたが、彼らは神の御使いを嘲笑い、その言葉を蔑み、預言者を愚弄した。それゆえ、ついにその民に向かって主の怒りが燃え上がり、

もはや手の施しようがなくなった。

神殿には火が放たれ、エルサレムの城壁は崩され、宮殿はすべて灰燼に帰し、貴重な品々はことごとく破壊された。剣を免れて生き残った者は捕らえられ、バビロンに連れ去られた。彼らはペルシアの王国に覇権が移るまで、バビロンの王とその王子たちの僕となった。こうして主がエレミヤの口を通して告げられ

ことば と言葉が実現し、この地はついに安息を取り戻した。その荒廢の全期間を通じて地は安息を得、七十年の年月が満ちた。

ヘルシアの王キュロスの第一年のことである。主はかつてエレミヤの口を通して約束されたことを成就するため、ヘルシアの王キュロスの心を動かされた。キュロス は文書にも記して、国中に次のような布告を行き渡らせた。

「ペルシアの王キュロスはこう言う。

天にいます神、主は、地上のすべての国をわたしに賜った。この主がユダのエルサレムに御自分の神殿を建てることをわたしに命じられた。あなたたちのうちの主の民に属する者はだれでも、上って行くがよい。神なる主がその者と共にいてくださるように。」

答唱詩編 〇典 2801 〇2

(詩編 137・1+2' 3+4' 答5+6)

先・エルサレムよ、おまえを忘れるよりは、わたしの右手がなえたほうがよい。
全・エルサレムよ、おまえを忘れるよりは、わたしの右手がなえたほうがよい。

先・エルサレムを思わず、最上の喜びとしないなら、わたしは口がきけなくなつたほうがよい。

バビロンの流れのほとりに座り、

柳に堅琴をかけ、シオンをおもひ、すすり泣いた。

全・エルサレムよ、おまえを忘れるよりは、

わたしの右手がなえたほうがよい。

先・わたしたちをとりこにしたものが、歌を求め、

しいたげる者が慰みに「シオンの歌をうたえ」と命じた。異国の地にあつて、どうしてヤウエの歌がうた

えよう。

全・エルサレムよ、おまえを忘れるよりは、

わたしの右手がなえたほうがよい。

使徒パウロのエフェソの教会への手紙

(エフェソ 2・4—10)

「皆さん、」憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によつて、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、あなたがたの救われたのは恵みによるのです。キリスト・イエスによつて共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。こうして、神は、キリスト・イエスにおいてわたしたちにお示しになつた慈しみによ

り、その限りなく豊かな恵みを、来るべき世に現そうとされたのです。事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。

詠唱

神はひとり子をお与えになるほど世を愛してください。神を信じる人は永遠のいのちに生きる。

ヨハネによる福音（ヨハネ3・14―21）

「そのとき、イエスはニコデモに言われた。」「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。

神は、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるた

めである。御子を信じる者は裁かれない。信じない者は既に裁かれている。神の独り子の名を信じていないからである。光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、光よりも闇の方を好んだ。それが、もう裁きになつてゐる。悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが明るみに出されるのを恐れて、光の方に来ないからである。しかし、真理を行う者は光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたということが、明らかになるために。」

信仰宣言

共同祈願

司・兄弟姉妹の皆さん、神は私たちを無償の愛と御憐みをもつて愛してくださいます。大きな信頼をもつて私たちの願いを捧げましょう。

1・シノドスの精神に向かつて歩んでゐる教会が神の国の呼びかけにこたえるために絶えず回心を呼びかける福音に忠実であることが出来ませうように。

全天の御父よ、貴方の光で私達を照らして下さい。2・私たちの祖国の行政当局のために祈りませう。隣れみに満ちた行動と決定を持って、すべての国民、殊に苦しんでいる人々の希望と品位を再建する事が

で 出来 ます よう に。

全・天の御父よ、貴方の光で私達を照らして下さい。

3・デジタル文化の中で働いているキリスト者の為に祈りましょう、社会的友情を促進し、出会いと対話の文化を築いていくことを常に視野に入れて働くことが出来 ます よう に。

全・天の御父よ、貴方の光で私達を照らして下さい。

4・主よ、復活の徹夜祭に洗礼を受ける準備をしている人々を照らし、その両親、代父・代母を祝福してください。

全・天の御父よ、
2024 年度 の 四 旬 節 兄 弟 愛 運 動 の 祈 り を と な
え ま し よ う 。

1・御父なる神よ、あなたは全ての人類を同じ品位をもつて創造なさいました。御子イエス・キリストの命と死と復活によって人類を救い、聖霊の内にご自分の子供として聖化してくださいました。

全・天の御父よ、私達を助けに来てください。

2・この四旬節に私たちが社会的友情の価値を理解し、全ての人の開かれた人間的友愛の美しさを生きたために私たちの好みや愛情と優先性を超えて真実な償いと回心の道に生きることが出来 ます よう に。

全・天の御父よ、私達を助けに来てください。

1・私達に靈感を与えて下さい。洗礼の約束更新が福音の良い便りにそつて、対話、正義、平等と平和の新しい世界建設に靈感を与えて下さいますように。

全・天の御父よ、私達を助けに来て下さい。

2・私たちに教えて下さい。排除、無関心、暴力、戦争のない連帯的な社会を建設することが出来 ます よう に。

全・天の御父よ、私達を助けに来て下さい。

全・あなたのはしため、私たちの母であるマリアが、あなたの聖なるみ旨を行うことを私達に教えて下さいますように。全・アーメン

奉納祈願 神よ、救いをもたらす供えものを喜びのうちにささげます。わたしたちが心をこめてこの祭儀

を行い、世を救うキリストの奉獻に結ばれることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

拝領祈願 すべての人の光である神よ、栄光の輝き

でわたしたちの心を照らしてください。いつもみ旨にかなう道を求め、心を尽くしてあなたに仕えることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。